

令和4年5月

学 校 長
図書担当教諭 殿

「第39回 夏のすいせん図書読書感想文コンクール」
作品募集についてのお願い

神奈川新聞社

貴校ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて弊社では、関係各位のご協力をいただいております、小学生を対象にした「夏のすいせん図書読書感想文コンクール」を開催します。本コンクールは、神奈川県学校図書館協議会の推薦図書を課題に、小学生に読書の喜びや文章表現の楽しさ、大切さを学んでもらうことを趣旨に実施しております。回を重ね、今年で37回目を迎えることになりました。これも校長先生や諸先生方のご指導、ご鞭撻の賜物であり、あらためてお礼申し上げます。

小学生にとって読書は、人間形成や創造力を育成していくうえで不可欠なことであります。若者の活字離れが指摘されている中、日本語の素晴らしさ、活字文化を後世に伝えることは、学校教育はもちろん新聞社としての大きな使命だと痛感している次第です。

本コンクールの開催趣旨にご理解を賜り、貴校児童の皆様に参加いただけるよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

- 事業名 「第39回 夏のすいせん図書読書感想文コンクール」
- 主催 神奈川新聞社
- 後援 神奈川県／神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会／川崎市教育委員会（予定）
会／相模原市教育委員会／厚木市教育委員会／神奈川県公立小学校長会／神奈川県私立小学校協会／神奈川県PTA協議会／横浜市PTA連絡協議会／川崎市PTA連絡協議会／横浜市学校図書館協議会
- 協力 神奈川県読書推進会
- 協賛 神奈川県書店商業組合
- 対象 神奈川県内在住・在学の小学生
- 部門 低学年（1・2年）、中学年（3・4年）、高学年（5・6年）の3部門
- 応募要項 神奈川県学校図書館協議会選定の2022年度「夏のすいせん図書」（別紙参照）の読書感想文（B4判400字づめ原稿用紙3枚以内。1行目に作品のタイトル、2行目に学年・氏名を明記）で未発表のもの。
※著作権は神奈川新聞社に帰属し、作品は返却しませんのでご了承ください。

- 応募方法 ①校内コンクール
各校、各部門で10編以上の応募があった場合は必ず校内コンクールを実施してください。コンクールを実施する学校は、各校の指定した締め切り日までに担当の先生に提出。各校で審査していただき、各部門3編ずつ（最優秀1編、優秀2編）を選考のうえ、下記送付先までお送りください。

※各部門の応募数が10編未満の場合は、学校経由の個人応募となります。

- ②その他
個人応募の場合は、学校経由または個人で下記送付先までお送りください。

- 締め切り 9月30日消印有効
- 送付先 〒231-8445 横浜市中区太田町2-23
神奈川新聞社クロスメディア営業局「夏のすいせん図書読書感想文コンクール」係

※応募作品それぞれに「応募票」（原寸コピー可）をクリップで留めてください。のりづけ、ホチキス留め厳禁。
校内コンクール実施校は、必要事項を記入した校内コンクール参加申し込み書（オレンジ色）を必ず同封してください。未提出の場合は賞状などをお送りできないのでご注意ください。

- 審査 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、神奈川新聞社が担当
- 表彰 ●校内コンクール（各学校単位で表彰）
各部門ごとに最優秀賞1編ずつ（賞状・楯）、優秀賞2編ずつ（賞状）
※12月下旬までに届かない場合は、当社東京支社営業部 03(3544)2507 へご連絡ください。
●県コンクール
校内コンクール実施校より送られた各校各部門の最優秀賞および優秀賞と、学校経由を含めた個人応募作品で、県コンクールを実施します。
最優秀賞＝各部門ごとに1編ずつ（賞状・楯・記念品）
*神奈川県知事賞（高学年の部）
*神奈川県教育委員会教育長賞（中学年の部）
*横浜市教育委員会教育長賞（低学年の部）
優秀賞＝各部門ごとに2編ずつ（賞状・楯・記念品）
佳作＝各部門ごとに3編ずつ（賞状・楯・記念品）
学校賞＝優秀な成績をおさめた児童を輩出した学校（賞状、記念品）
- 発表 11月下旬に神奈川新聞紙上で県コンクール入賞者を、12月中旬に最優秀・優秀作品を掲載予定。
- 備考 別添、今年度「夏のすいせん図書」の読書感想文（未発表のもの）に限ります。校内コンクールに提出した作品をあらためて個人で応募したり、同一作品を他のコンクールへ応募することはご遠慮ください。その場合は無効とさせていただきます。

※応募いただいた方の個人情報には当コンクール以外の目的には使用いたしません。